

みなさん、こんにちは。中間市長の福田健次です。

総務省は先月末、2020年国勢調査の結果を公表しました。令和2年10月1日現在の日本の総人口は1億2,614万6,099人で、前回調査から94万8,646人の減少となっており、我が国がいよいよ本格的に人口減少社会へと突入しているということが改めて示されたところです。



中間市の人口は40,362人で、前回調査から1,434人（3.4パーセント）の減少、昭和60年のピーク時と比較すると9,932人（19.7パーセント）もの減少となっており、国より一足先に人口減少が進行していることは間違いありません。

ただ、人口減少自体が必ずしも悪いというわけではなく、むしろその中身、つまり少子高齢化や都心部への一極集中といった人口の偏りこそが、様々な行政課題を引き起こしている最大の要因といえます。

こうしたことから、まずは若い人たちがこどもを安心して生み育てることのできる環境を整えること、さらに中間市で生まれ育った若者が今後も中間市に住み続けたいと思っていただけるような魅力あふれるまちづくりを行うことをしっかりと実行して参ります。

少子化対策の効果が表れるまでには一定の時間を要しますし、一自治体としてできることは限られているのですが、力の限り努めて参りますので市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

令和3年12月17日
中間市長 福田健次